

講義科目名称： がん看護学特別演習Ⅱ

授業コード： 6630600500

英文科目名称： Seminar of Cancer NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、樺澤三奈子、小林綾子、上野恵美子、三浦一二美、大野綾、西村香、長崎揚子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】				
	前期	30時間				
	【担当教員】					
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】		
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp		
	樺澤 三奈子	同上	318	minako-k@niigata-cn.ac.jp		
	小林 綾子	同上	205	otsuka@niigata-cn.ac.jp		
	上野 恵美子	長野赤十字病院	がん看護専門看護師			
	三浦 一二美	長岡中央総合病院	がん看護専門看護師			
	大野 綾	瀬田クリニック東京	がん看護専門看護師			
	西村 香	新潟県立がんセンター新潟病院	がん看護専門看護師			
	長崎 揚子	同上				
	【本学の科目区分】					
	専門分野					
		【D P 1】	【D P 2】	【D P 3】	【D P 4】	【D P 5】
	◎	○	○	○	◎	

到達目標	1. がん薬物療法の有害事象の予防・早期発見・早期対処が実施できる。 2. 治療の継続および治療中の生活の質を高めるために必要なアセスメントが実施できる。 3. エビデンスに基づく看護援助方法や教育技法を提案・説明できる。
------	---

授業概要	がん薬物療法の薬理学的知識、有害事象の身体的・心理的・社会的アセスメントと症状マネジメント、意思決定支援、セルフケア能力向上のための方略と教育的技法について、国内外の文献講読とその批判的吟味や事例の検討、臨地演習を通して学ぶ。そして、エビデンスに基づいた患者のアセスメントと臨床判断・実践能力、及びがん看護専門看護師としての能力（実践・相談・調整・倫理調整・教育）を養う。学生主体のプレゼンテーションとディスカッションを中心に進める。
------	---

授業計画	1	授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん薬物療法におけるがん看護専門看護師の活動 学修内容：・がん化学療法における総合的アセスメント 備考：石田
	2	授業内容 授業形態：演習 学修課題：最新の外来がん薬物療法看護(1) 学修内容：・外来がん薬物療法における看護師の役割(1) 備考：長崎 石田
	3	授業内容 授業形態：演習 学修課題：最新の外来がん薬物療法看護(2) 学修内容：・外来がん療法における看護師の役割(2) 備考：長崎 石田
	4	授業内容 授業形態：演習 学修課題：集学的治療の背景とチームアプローチ 学修内容：・看護の役割 備考：樺澤
	5	授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん薬物療法を受ける患者の有害事象の予防と早期発見 学修内容：・がん薬物療法実施におけるシステム・アセスメントと看護 備考：樺澤
	6	授業内容 授業形態：演習 学修課題：有害事象の症状マネジメントとセルフケア支援の探究(1)：嘔気・嘔吐 学修内容：・(1)～(7)の有害事象に対する効果的なケアに関する文献を活用した事例検討とディスカッション 備考：西村 石田
	7	授業内容

	<p>授業形態：演習 学修課題：有害事象の症状マネジメントとセルフケア支援の探究（2）：骨髄抑制 学修内容：・（1）～（7）の有害事象に対する効果的なケアに関する文献を活用した事例検討とディスカッション 備考：西村 石田</p> <p>8 授業内容 授業形態：演習 学修課題：有害事象の症状マネジメントとセルフケア支援の探究（3）：口内炎 学修内容：・（1）～（7）の有害事象に対する効果的なケアに関する文献を活用した事例検討とディスカッション 備考：上野 石田</p> <p>9 授業内容 授業形態：演習 学修課題：有害事象の症状マネジメントとセルフケア支援の探究（4）： 消化器症状（下痢・便秘） 学修内容：・（1）～（7）の有害事象に対する効果的なケアに関する文献を活用した事例検討とディスカッション 備考：上野 石田</p> <p>10 授業内容 授業形態：演習 学修課題：有害事象の症状マネジメントとセルフケア支援の探究（5）：脱毛・皮膚障害 学修内容：・（1）～（7）の有害事象に対する効果的なケアに関する文献を活用した事例検討とディスカッション 備考：三浦 石田</p> <p>11 授業内容 授業形態：演習 学修課題：有害事象の症状マネジメントとセルフケア支援の探究（6）：末梢神経障害 学修内容：・（1）～（7）の有害事象に対する効果的なケアに関する文献を活用した事例検討とディスカッション 備考：三浦 石田</p> <p>12 授業内容 授業形態：演習 学修課題：有害事象の症状マネジメントとセルフケア支援の探究（7）：倦怠感 学修内容：・（1）～（7）の有害事象に対する効果的なケアに関する文献を活用した事例検討とディスカッション 備考：樺澤</p> <p>13 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん薬物療法における安全管理 学修内容：・抗がん剤曝露対策 備考：石田</p> <p>14 授業内容 授業形態：演習 学修課題：最新の治療と看護の実際(1) 学修内容：・免疫療法を受ける患者の看護の実際(1) 備考：大野 石田</p> <p>15 授業内容 授業形態：演習 学修課題：最新の治療と看護の実際(2) 学修内容：・免疫療法を受ける患者の看護の実際(2) 備考：大野 石田</p> <p>16 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん薬物療法をうけるがん患者・家族への意思決定支援 学修内容：・がん薬物療法を行う患者の事例検討 ※合併症対策：糖尿病・腎機能障害の管理を含む 備考：石田 小林</p> <p>17 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん薬物療法をうけるがん患者・家族へのセルフケア支援 学修内容：・がん薬物療法を行う患者の事例検討 ※合併症対策：糖尿病・腎機能障害の管理を含む 備考：石田 小林</p> <p>18 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん薬物療法における看護師への教育支援 学修内容：・専門看護師が用いる教育技法 備考：石田</p> <p>19-20 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん薬物療法看護の課題と支援の探求 学修内容：・1回から18回の学びをふまえ、がん薬物療法看護における「がん看護専門看護師に求められる役割と課題」についてのディスカッション 備考：石田 樺澤</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：適宜指示する。 事後学習：適宜指示する。</p>
評価方法、評価基準	<p>到達目標に対し、レポート 50%、プレゼンテーション 30%、課題分析能力 20%を総合的に判断する。</p>

テキスト	教科書は指定しない。
参考図書・資料等	必要時提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	事例検討等においては、提示された課題に基づき事前に資料を作成し、人数分の資料を配布する。
教員からのメッセージ	授業に関する質問等がある場合、メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー	石田、樺澤が窓口となり対応する。事前にメールで連絡すること。